



第8回

String型 (5.7～5.13)

AJ科 宮川 治

概要1

■ String型の変数

- 複数の型。例、int型やString型
 - 型で先頭文字が大文字か小文字の違い

■ 仮引数の型

■ 仮引数の型と個数(0～255個)

- 前回はint型
- 今回はString型
- 複数の仮引数と実引数
 - 引数の個数と型の一致

概要2

■ クラス図からの導出

- 仮引数の順番
- 仮引数の表記の違い

■ クラス図と振る舞い(メソッド)

■ 仮引数と型(プログラム→クラス図)

- 引数の型 仮引数名 → 仮引数名:引数の型になると逆になる。
- 仮引数の順番は変わらない。
 - 混同して、順番を逆にする間違いがある

概要3

■ 引数

- 一つ
- 二つ(引数の型が同じ)
- 二つ(引数の型が違う)

設問

- クラス図の3段目の表記からプログラムへの変換や確認
 - 仮引数の型や個数や実引数の型や個数
- 仮引数と実引数の弁別
- StringとString[]は違うことを確認
 - []は後日(前振り)
- インデントミスの弁別